

進路指導室へようこそ2

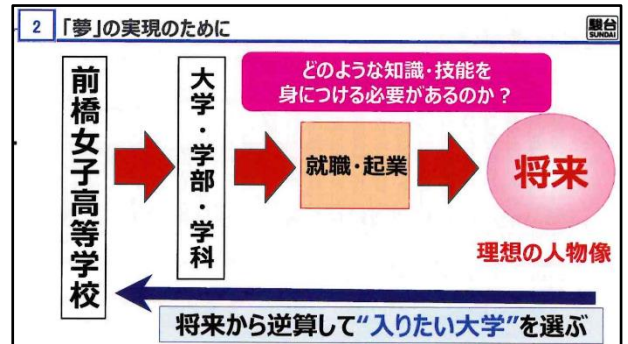
前橋女子高校進路指導部

令和6年度 MJ 進路通信 第13号

令和6年6月9日（月）発行

■ 3年生進路講演会の話題から

7日の5・6時間目に3学年対象の進路講演会が行われました。駿台予備校から講師の先生をお招きし、「現役合格に向けて」と題して話をいただきました。内容は3年生向けのものですが、今年度の入試から新課程になることもあり1・2年生にとっても将来的には大きく関わってくる内容だと思われるので、講演の概要やポイントをまとめてみました。ご家庭でも是非話題にさせていただきたいと思います。



■ 講演「現役合格に向けて」

・ 選ばなければ、大学には入れる時代

「入りやすい大学」ではなく、難関大を目指すのは
「授業・仲間・実績」が違うから
→ 将来の理想に近づくための知識が学べる環境を目指す

・ 共通テストの平均をどう見るか

平均によってメンタルも揺れる
「医学部行くには720点とらないと無理」という思い込み
→ 680点で合格した人もいる。決め込んでしまうのは×

・ 大学入試のスケジュールを把握しておこう

学力のピークを共通テストにもっていけるようにする
新課程の入試・・・使える過去問と使えない過去問がある
共通テストである程度とおかないと大変
(出願先決定に時間がかかりスタートが遅れる)
国公立前期入試の直前に群馬県高校入試
(いつまで個別指導を見てもらえるのか考えておく)
志願倍率と受験倍率は全く違う
→ 受けに行けば半分受かる大学も(最後まで諦めない姿勢)

・ 大学は受験生に何を求めているか (資料40)

志望校の解答用紙を見たことがありますか？
採点者は答案を見てから配点を決める(方向性・方針を書いただけでも評価されることもある)
答えを写せばよいという訳ではない(解説をよく読み、プロセスや採点者への主張をきちんと書く練習を)

・ 今後の学習リズムの作り方

まず、できること(学校の授業)からやっていくことが大切
今やっていることを差し置いて何かをやる、ということはない
「あれもやりたい」「これもやりたい」となりがちな受験生
→ まず to-do リストをつくってみよう
一部は夏休みにとっておく
(今やることなのか、あとでやることなのかの仕分けが大事)
自分のペースで長時間の学習ができるのは夏休みだけ
(冬休みは同じような勉強はできない・・・ほとんど共通テストの演習で終わってしまう)
苦手科目の克服は、「慣れる」「こなす」「頑張る」

40 大学は受験生に何を求めているか

①基礎・基本を理解しているか	④国語力を重視する傾向
②バランスの取れた学力	⑤それらを実践する力
③論理力・思考力・総合力をみる	

個別(2次)試験を制する答案作成のポイント: 答案で表現する

・見出しをつける	・省略せず、途中計算も書く
・丁寧な字で書く	・部分点を取る!
・バランスよく書く	

模試などで練習し、模試が終了したあとに解答解説をじっくり読んで、満点が取れる答案をもう一度、自分自身の手で作成してみる。

58 完璧主義になりすぎないように

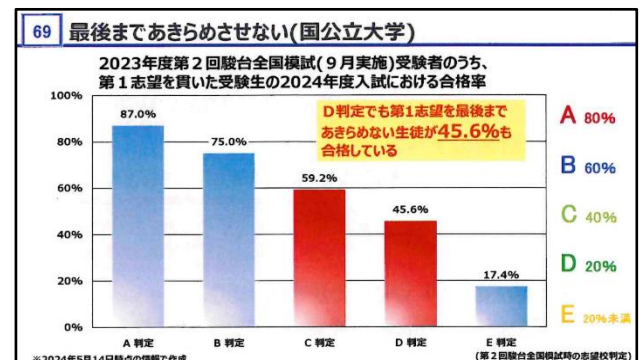
「無計画な学習計画」「膨大な学習計画」
とならないように...

「学習計画の7~8割」
を達成することを心がけましょう

↓

・今日中にやること
・今週中にやること
・今月中にやること

1週間どのように過ごしたかを振り返り、時間の使い方の改善点を見つけましょう!



• 完璧主義になりすぎない（資料58）

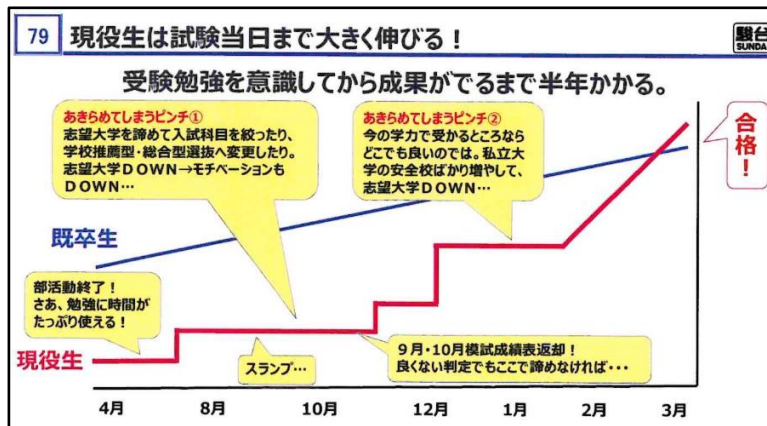
やるべきことをピックアップして、集中して取り組みたいことを上げる
 どんな人でも必ず計画というものは遅れていく（4～5日に1日は調整日を設ける）
 夏休みの前半はインプット中心、後半にはアウトプットに移行していく
 （問題を解きながら、易しい／難しい、の見極め、解けない問題をとばす勇氣）
 苦手科目は、「普通であれば十分」。高望みせず、まず平均を目指す

• 模試の活用法

試験に慣れることも大事だが、「弱点発見」を！
 →学校の平均よりとれていない分野はどこか
 設問別の成績を見よう→優先項目が見える
 採点講評を熟読する（採点者のメッセージ）

• 過去問の活用法

何年分やるかの？
 →目安はない（やればよいというものでもない）
 得意（不得意）分野がどのくらい出題されるか
 量重視か、考えさせる問題重視か？最低点は？
 過去問は、早めに買って机の前においておく（モチベーション維持と覚悟を決めるため）



• 最後まであきらめない（資料79）

模試判定はあくまで目安、一喜一憂しないことが大切
 しっかり計画を立てて実行し、自信をもって試験に臨めば実力以上の力が出る
 成果が出るまで時間がかかる、現役生は試験当日まで伸び続ける！

■「大学入試を知る」(第3回：自分の到達度を知る指標について、知っておこう)

偏差値とは？ 数学の勉強だと思って読んでみましょう。3年生は復習です。

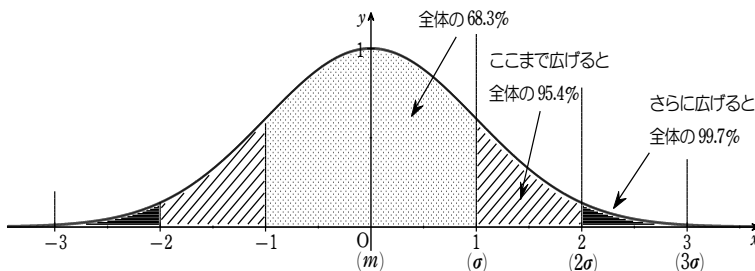
Aさんが国語と数学のテストを受験し、国語は56点、数学は45点でした。ここで、得点だけを見てAさんは国語の出来がよかった、と判断することはできません。このような場合、英語と数学の得点分布を標準化し、ともに平均0、分散1の正規分布に揃えることで全体における位置を比較することができます。標準化とは、確率変数Xに対し、新たな確率変数Zを

$$Z = \frac{X - m}{\sigma} \quad (m: \text{平均}, \sigma: \text{標準偏差})$$

として変換するものです(数学Bの「統計と推測」)。ただしこれだと数字が小さすぎて分かりにくいので10倍し、さらにそれだと平均以下の人はマイナスになる(印象が悪い?)ので50を加えることで平均ピッタリの人が50になるように調整します。つまり、平均がm、標準偏差がσであるような集団において、得点がx点の人の換算値を

$$Y = 10 \cdot \frac{X - m}{\sigma} + 50$$

とします。この値を偏差値といい、これによって異なる集団における自分の位置を比較することができます(模試や定期試験は時期や教科によって平均や集団のばらつきは異なりますね)。ちなみに偏差値25



～75の範囲内には全体の98.8%が含まれています。滅多に見ない「偏差値85」というのは、全体の上位0.02%に過ぎないことも分かります。もっと極端な設定にすると、例えば100人の生徒が受験したテストで99人が0点、1人だけ100点(もはや正規分布とはいえない?)だった場合、その100点の生徒の偏差値はなんと149になってしまいます(見たことがない!)。逆に0点の人の偏差値は49。0点続出のテストが返ってきたときは、お母さんには答案ではなく偏差値を見せた方がいいかもしれませんね(笑)。(次回はG T Zについて説明します)